



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月7日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7722 URL http://www.kokusaikk.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 博司
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 進一 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,494	△32.4	△103	—	△27	—	△45	—
30年3月期第1四半期	2,209	2.3	214	—	211	—	117	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △243百万円(—%) 30年3月期第1四半期 100百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△3.25	—
30年3月期第1四半期	8.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	15,640	10,056	63.5
30年3月期	16,081	10,510	64.7

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 9,947百万円 30年3月期 10,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	△1.7	400	△32.4	400	△30.7	240	△35.1	17.12
通期	12,000	4.5	1,600	6.0	1,600	14.2	950	9.5	67.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	14,200,000株	30年3月期	14,200,000株
31年3月期1Q	184,574株	30年3月期	184,574株
31年3月期1Q	14,015,426株	30年3月期1Q	14,015,426株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費や企業の設備投資が持ち直す傾向にあり、景気は緩やかな回復基調となりました。また、海外経済においては緩やかな回復傾向が見られる一方、米国の通商政策等による貿易摩擦や、中東や朝鮮半島などの地政学リスクを含め、懸念材料が多く、先行きは不透明な状況が続いております。

なお、当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資につきましては、当第1四半期連結累計期間も増加傾向で推移しております。また、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましても、依然として低燃費エンジンや燃料電池・電気自動車等、環境や省エネに配慮した自動車部品の製造・研究開発分野への設備投資が続いております。

このような経営環境の中で当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバラシングマシンと共に、研究開発用の各種電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、引き続き国内及びアジアを中心に積極的に展開しております。この結果、当第1四半期連結累計期間につきましては、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーからの生産ライン用タイヤ関連試験機や国内の自動車関連メーカーからの電気サーボモータ式振動試験機を中心に49億円の受注（前年同四半期比49.5%増）を獲得いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高14億9千4百万円（前年同四半期比32.4%減）、営業損失1億3百万円（前年同四半期は2億1千4百万円の利益）、経常損失2千7百万円（前年同四半期は2億1千1百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失4千5百万円（前年同四半期は1億1千7百万円の利益）となりました。

売上高につきましては、客先への出荷・検収が第1四半期から第2四半期にずれ込んだ案件があったことから、前年同四半期と比較して減少しております。

利益面につきましては、当社グループの海外取引における主たる決済通貨である米ドルの為替相場が、円安ドル高に推移したため為替差益が発生したものの、減収による減益の影響などにより前年同四半期と比較して減少しております。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

[日本(国際計測器株式会社)]

国内向けシャフト歪自動矯正機の出荷・検収が増加したものの、海外向けの電気サーボモータ式振動試験機や国内及び海外向けバランスングマシン全体の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常利益は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	11億8千6百万円(前年同四半期比36.1%減)
経常利益	1億4千3百万円(前年同四半期比75.5%減)

[日本(東伸工業株式会社)]

原子力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が減少し、材料試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	4千4百万円(前年同四半期比53.4%減)
経常損失	4千万円(前年同四半期は3千5百万円の損失)

[米国]

日系の大手自動車メーカーや米国の自動車部品メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	1億1千6百万円(前年同四半期比38.2%減)
経常損失	3千1百万円(前年同四半期は6千万円の損失)

[韓国]

韓国大手自動車関連メーカーへのバランスングマシンや電気サーボモータ式振動試験機、シャフト歪自動矯正機の出荷・検収が第2四半期以降に繰り越されましたが、当社グループからの製造委託が大幅に増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	4億4千6百万円(前年同四半期比58.9%増)
経常利益	5千6百万円(前年同四半期比14.5%増)

[中国]

中国国内のタイヤメーカーへのタイヤ関連試験機の出荷・検収は増加したものの、自動車部品メーカーへのシャフト歪自動矯正機の出荷・検収は減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	1億3千9百万円(前年同四半期比23.4%減)
経常利益	3千1百万円(前年同四半期は8百万円の損失)

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、156億4千万円（前連結会計年度末比4億4千万円減）となりました。これは、売上債権の回収などにより現金及び預金が増加（前連結会計年度末比6億2千8百万円増）したことや、第2四半期以降に出荷予定の仕掛案件の進捗により仕掛品が増加（前連結会計年度末比8億6千4百万円増）したものの、売上債権の回収や売上の減少により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比17億1千3百万円減）したことが主たる要因であります。

(負債の部)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、55億8千4百万円（前連結会計年度末比1千3百万円増）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことなどにより未払法人税等が減少（前連結会計年度末比2億2千4百万円減）したことや、保有する株式の時価下落などにより繰延税金負債が減少（前連結会計年度末比6千3百万円減）したものの、短期運転資金の調達のため短期借入金が増加（前連結会計年度末比1億6千万円増）したことや、受注の増加により前受金が増加（前連結会計年度末比2億1千6百万円増）したことが主たる要因であります。

(純資産の部)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、100億5千6百万円（前連結会計年度末比4億5千4百万円減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比2億5千5百万円減）したことや、保有する株式の時価下落に伴いその他有価証券評価差額金が減少（前連結会計年度末比1億1千6百万円減）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、第2四半期及び第4四半期に売上が集中する傾向が強いことから、第2四半期以降の業績については計画通りに推移すると見込まれており、平成30年5月15日に公表いたしました平成31年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,868,953	4,497,632
受取手形及び売掛金	4,384,803	2,670,889
商品及び製品	204,371	142,440
仕掛品	1,502,354	2,367,007
原材料及び貯蔵品	565,807	625,333
その他	171,690	204,838
貸倒引当金	△6,669	△4,909
流動資産合計	10,691,309	10,503,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,462,538	2,458,053
機械装置及び運搬具	231,664	228,701
土地	1,308,286	1,307,816
リース資産	3,036	3,036
その他	238,032	237,405
減価償却累計額	△1,546,386	△1,560,740
有形固定資産合計	2,697,171	2,674,271
無形固定資産		
その他	54,564	55,338
無形固定資産合計	54,564	55,338
投資その他の資産		
投資有価証券	584,808	416,885
長期貸付金	12,938	12,162
繰延税金資産	79,630	84,865
保険積立金	1,739,986	1,760,299
その他	316,184	235,570
貸倒引当金	△95,187	△101,836
投資その他の資産合計	2,638,360	2,407,947
固定資産合計	5,390,096	5,137,557
資産合計	16,081,406	15,640,789

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,828,012	1,772,298
短期借入金	890,000	1,050,000
1年内返済予定の長期借入金	242,168	227,169
未払法人税等	262,251	37,300
賞与引当金	116,927	195,695
製品保証引当金	103,254	95,426
前受金	670,338	887,316
その他	320,776	303,178
流動負債合計	4,433,729	4,568,384
固定負債		
長期借入金	596,966	545,595
繰延税金負債	174,817	111,528
役員退職慰労引当金	133,176	135,296
退職給付に係る負債	220,491	211,827
資産除去債務	11,694	11,754
固定負債合計	1,137,144	1,016,001
負債合計	5,570,874	5,584,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	8,130,183	7,874,315
自己株式	△150,994	△150,994
株主資本合計	9,938,688	9,682,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	366,805	250,280
為替換算調整勘定	105,803	14,366
その他の包括利益累計額合計	472,608	264,646
非支配株主持分	99,234	108,935
純資産合計	10,510,532	10,056,403
負債純資産合計	16,081,406	15,640,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,209,650	1,494,057
売上原価	1,367,263	909,276
売上総利益	842,386	584,780
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	35,456	20,327
貸倒引当金繰入額	6,998	4,947
役員報酬	40,158	40,287
給料手当及び賞与	128,658	179,360
賞与引当金繰入額	29,125	32,146
退職給付費用	10,403	8,191
役員退職慰労引当金繰入額	32,021	2,120
運賃	64,665	51,007
減価償却費	7,962	7,452
研究開発費	5,738	8,219
その他	266,533	334,696
販売費及び一般管理費合計	627,721	688,756
営業利益又は営業損失(△)	214,665	△103,975
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,224	10,784
為替差益	1,514	66,788
その他	3,734	7,810
営業外収益合計	14,473	85,383
営業外費用		
支払利息	3,036	2,393
売上債権売却損	1,164	1,084
保険解約損	12,543	3,477
その他	1,204	1,800
営業外費用合計	17,948	8,755
経常利益又は経常損失(△)	211,190	△27,348
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	211,190	△27,348
法人税、住民税及び事業税	136,651	27,433
法人税等調整額	△46,624	△20,695
法人税等合計	90,027	6,737
四半期純利益又は四半期純損失(△)	121,163	△34,085
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,799	11,550
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	117,364	△45,636

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	121,163	△34,085
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,755	△116,525
為替換算調整勘定	△81,032	△93,286
その他の包括利益合計	△20,277	△209,812
四半期包括利益	100,885	△243,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,807	△253,598
非支配株主に係る四半期包括利益	4,077	9,700

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	1,631,280	96,082	188,409	157,294	131,286	2,204,352	5,297	2,209,650
セグメント間の内部売上高又は振替高	226,760	—	228	123,841	51,407	402,237	11,192	413,429
計	1,858,040	96,082	188,637	281,135	182,693	2,606,590	16,489	2,623,079
セグメント利益又は損失(△)	584,326	△35,174	△60,455	49,062	△8,875	528,883	△528	528,354

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	528,883
「その他」の区分の損失(△)	△528
セグメント間取引消去等(注)	△317,164
四半期連結損益計算書の経常利益	211,190

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が334,227千円含まれております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	1,095,667	44,745	111,828	103,327	113,446	1,469,015	25,041	1,494,057
セグメント間の内部売上高又は振替高	91,197	—	4,833	343,406	26,474	465,912	9,460	475,372
計	1,186,865	44,745	116,662	446,734	139,921	1,934,928	34,501	1,969,429
セグメント利益又は損失(△)	143,111	△40,141	△31,342	56,198	31,831	159,656	7,300	166,957

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	159,656
「その他」の区分の利益	7,300
セグメント間取引消去等(注)	△194,305
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△27,348

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が166,787千円含まれております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	819,667	△40.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	183,615	△42.1	日本(国際), 韓国
材料試験機	44,745	△53.4	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	149,450	+10.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	298,555	+5.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	1,496,032	△32.3	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

区 分	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	2,602,774	+20.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,610,381	+196.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	85,883	△15.0	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	260,733	+68.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	340,493	+8.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	4,900,265	+49.5	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第1四半期連結累計期間末(平成30年6月30日)

区 分	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	5,790,953	△3.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	2,792,538	+125.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	107,579	△38.3	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	852,486	+45.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	129,055	+124.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	9,672,614	+20.0	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

区 分	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	817,692	△40.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	183,614	△42.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	44,745	△53.4	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	149,449	+10.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	298,555	+5.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	1,494,057	△32.4	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。